

社長定例会見（平成 28 年度 11 月）

2016 年 11 月 15 日

今月の内容は以下の通りです。

- ・ 最近の営業・輸送概況
- ・ 大阪交通博物館のオープンについて
- ・ 舞鶴線の運行について
- ・ 全車両に火薬探知機と X 線探知機の設置について

先日より多数の爆破予告が当社宛に届き、多くのお客様並びに関係者様にはご迷惑をお掛け致しましたことを、お詫び申し上げます。

再発防止に向け、今後改善策等を検討していく所存であります。

1 最近の営業・輸送概況

9月の運輸取扱収入は対前年128%、10月の運輸取扱収入は対前年126%と前年を大きく上回りました。これは、新路線の開業によりご利用いただける路線が増え、ビジネスや旅行がしやすくなってきていると考えられます。またアーバンネットワークが9月は対前年109%、10月は115%と、全体比ですと9月は対前年200%、10月は208%と8月をやや下回りました。

2 大阪交通博物館のオープンについて

中河内グループホールディングスが計画し、建設を進めてきた大阪交通博物館のオープン日が11月23日(水・祝)に決まりました。

初年度の来場者数は、約80万人を見込んでいます。

大阪交通博物館とは、中河内グループホールディングスをはじめとする架空鉄道会社及び架空バス会社が連携した博物館型見学・体験施設です。世界で初めてのバスの嵩上げ展示や、水素バスの展示、実際の鉄道車両の運転体験など体験を重視した博物館です。

また、海岸沿いにあることから、大阪湾を一望できる展望デッキなども設けています。

さらにレストランでは、昔懐かしの食堂車で提供されていた「ハンバーグ定食」をはじめ、定番のカレーライスやオムライスなど計10種類のメニューを取り揃える予定です。

3 舞鶴線の運行について

兼ねてより奈良～舞鶴間にて計画していましたが、工事状況が予定より前倒しとなり、2018年春の運行開始となりました。これにより奈良～京田辺～舞鶴の利便性の向上を図ります。

また、これに合わせて新型車両を導入することとなりました。今回の車両は「新たな未来へ発進する」をコンセプトとし、バリアフリーの充実、ご利用性の向上などを踏まえ、そのため、全車両に車いす対応のトイレの設置や転換クロスシートとロングシートの混合など様々な改善を行いました。

4 全車両に火薬探知機とX線探知機の設置について

関鉄西日本では近日発生した爆破予告を受け、当社に在籍している全車両に火薬探知機とX線探知機を設置することを決定いたしました。また、駅改札口にも設置いたします。

このシステムは、神速重工、ANSOK、SECONと共同開発しています。

火薬探知機とX線探知機を全車両の乗降扉付近に設置します。火薬を含む手荷物等を車内や駅構内に持ち込んだ場合、警報音が鳴り、付近の全列車を緊急停止させます。また、同時に付近の警察署に自動的に110番通報す

るシステムを導入します。

2016年11月下旬以降に製造する列車に標準装備いたします。また、2017年春頃より順次、営業車両全車に搭載いたします。全列車への搭載終了見込みは、2018年秋頃を予定しています。

駅改札口への設置は、2017年春頃に大阪駅、天王寺駅、新大阪駅の3駅より順にご利用者数の多い駅より設置していく予定です。工事期間中、ホームや改札口の一部が狭くなる場合があります。ご理解ご協力お願い申し上げます。

KANTETSU WEST

関西西日本株式会社